

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



|                 |  |
|-----------------|--|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリハット   |
| 2. 体験した事例の名称    | 川が増水したことにより対岸へ取り残された要救助者が救出時に溺れそうになった事例                          |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | ①救出ロープの張力が弱かった<br>②要救助者が不安や緊張から展張ロープをカーブ持ちすぎている(救出準備段階に説明不足であった) |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 流水活動に対する知識不足   |

【体験した事例の直接的な原因について】



|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

【体験した事例について】



|                                  |                      |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成24年7月某日 午後8時頃      |
| 2. 発生した当時の天候                     | 曇り                   |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：川                 |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、他人を負傷させそうになった。  |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)  | 重傷の怪我をしていた(させていた)だろう |
| 6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)     | おぼれ                  |
| 7. 事例体験時の活動                      | 救助現場活動中期             |
| 8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか         | 人命検索・救出              |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した              |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



|                   |  |
|-------------------|--|
| ○当事者A             | 年齢[28]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[5]年、階級[消防士長]<br>同様の活動[初めて]、任務[機関員] |
| ○当事者B             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]<br>同様の活動[ ]、任務[ ]         |
| ○当事者C             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]<br>同様の活動[ ]、任務[ ]         |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) |  |

11. 事例発生時の経過。



|      | 誰が(何が) | なにをした                                  | その他・備考など |
|------|--------|--|----------|
| 経過1  | 当事者A   | 救助出動のため救助工作車に乗車し出動した                   |          |
| 経過2  | 当事者A   | 現着後ウェットスーツに着替え、確保ロープを付け、泳いで要救助者がいる対岸へ  |          |
| 経過3  | 当事者A   | ロープを展張し、フェリーアングルにて救出を開始                |          |
| 経過4  | 当事者A   | 要救助者が怖がってロープにしがみついてしまい顔が一時浸かり、溺れそうになった |          |
| 経過5  |        |  |          |
| 経過6  |        |  |          |
| 経過7  |        |  |          |
| 経過8  |        |  |          |
| 経過9  |        |  |          |
| 経過10 |        |  |          |
| 経過11 |        |  |          |
| 経過12 |        |  |          |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

後方からの監視の目が行き届いていた。たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | はい  |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | いいえ |
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | はい |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | はい  |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった(寒かった)。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|            |
|------------|
| 要救助者への説明不足 |
|------------|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

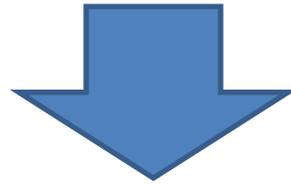
○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

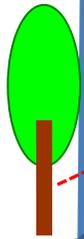
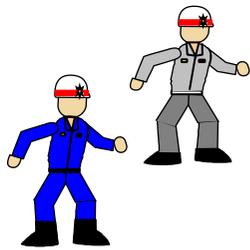
○指揮・情報伝達の対策について

# イメージ図

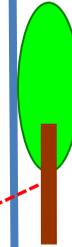
上部安全管理



隊員全員ライフジャケット装着済み



誘導ロープ



ライフジャケットを着用し、斜め45°に展張したロープに川の動水圧を利用して救出中、要救助者が怖がってロープにしがみついてしまい、一時顔が浸かって溺れそうになった。

バックアップロープ

